
しゅーしょくぶ！

ゲキガンガー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

しゅーしょくぶ！

【Nコード】

N0640Z

【作者名】

ゲキガンガー

【あらすじ】

大卒内定率が三割を切る時代。高校生の時から就職活動をするのが普通の時代になっていた。

そんな中、極度のあがり症の高校生、深谷佑介は、片思いの相手、河合英梨がコンビニで働いている事から、お近づきになりたいとコンビニのアルバイトを志望する。そして、コンビニの面接を受けるのだが。練習で受けたコンビニもあえなく落ちる。

そんな中、学校で『修職部』という、部活を見つける。

佑介はその部を訪れるのだが。

前代未聞かはわからないけど、就職活動ラブコメディ。

実的な知識や、失敗談、成功談とかも、盛り込めたらいいな、
というのが作者の希望。

しゅーしょくぶ！ ? (前書き)

かなりマニアックなネタというか。

就職活動×ラブコメ。

という、割と奇抜なネタですので、人選ぶと思いますが、もし読まれた方がいれば感想など書いて頂ければ嬉しいです。

ただし、修正は完結してからに、基本的にします。

コンスタンスに書いて、何とか完結させていきたいです。

しゅーしょくぶ！ ？

しゅーしょくぶ！ 正しい就職活動の始め方
作ゲキガンガー

履歴書。

氏名。 ふかやゆうすけ 深谷佑介

住所。 x x x。

電話番号。 x x x。

経歴。

2005年生。

2010年。 小学校入学。

2016年。 中学入学。

2016年。 高校入学。

職歴なし。

特技。 空気を読む事。

部活動。 所属なし。

長所。 わかりません。 短所。 極度のあがり症なところです。

主なアピールポイント。

今までは何不自由なく生きてきましたが、これから社会に出て行く事を考えて、御社でアルバイトとして働こうと思いました。取り立てて取り柄のない人間ですが、精一杯頑張ろうと思います。

目の前にいるコンビニの店長。頭の禿げた、髪の毛の一本が波平みたいに立っているおっさんが、俺の書いた履歴書に目を通してている。

既に心臓はバクバクと鼓動をしている。体調がおかしい。異の中に穴が空きそうだった。

まず、履歴書を思い返して、後悔したのは、部活動に入っていないかった事。やはり、部活に入っていないのはマイナスポイントだら

うか。まず、体力以上に社交性を疑われかねない。次に、写真をス
ピード写真で撮り、乱雑に貼り付けた。寝癖を直すのを忘れ、写真
にも、きつちりそれが反映されていた。

これは面接である。だが、別に、企業の面接とか、そういうわけ
ではなかった。これは、ただのコンビニのアルバイトの面接である。
「それで、君はなんでコンビニのバイトをしようと思ったの？」

面接官となっているコンビニの店長。サーク Kの店長だった
は聞いてきた。

「それは！ その！ えーっと！ その！ えーと！ そのですね
『その』と『えーっと』しか言っていなかった。やばい、緊張のあ
まり言葉が紡げない。

店長は溜息交じりに履歴書の挟まっているファイルを閉じた。

「面接の結果は後日電話で伝えます。採用だったら電話で伝えます
が、不採用だったら連絡しません」

「わ、わかりました！」

俺は背筋を異様な程伸ばして、そう言った。

電話は来なかった。結果は不採用に終わる。

深谷佑介。賞罰なし。中高大、とエスカレートで進む学校の高等
部二年生。部活動などの所属はなし。取り立てて特徴もなく、長所
もなし。欠点なのは極度のあがり症な事。本番の時、人と接する時、
極端にあがってしまうのだ。顔は紅潮し、言葉は詰まる。典型的な
コミュニケーション能力の欠如。いわゆるコミュ障とか言われる人
種だった。

こういう性格だから、あまり友達も多くない。当然のように彼女
もない。

趣味は読書 という事になっているが、深く聞かれてもそんなに
は答えられない。愛読者は坊ちゃんという事になっている。どんな内
容だったかはあまり覚えていない。

こんな俺でも、恋をする。恋をする資格は誰にでもあるはずだ。

そう、職業選択の自由と同じく、恋愛の自由も憲法で認められているはずだ。認められているのは婚姻だった気はするけど。

相手の名前は河合英梨。

明るい性格の、クラスのムードメーカー。彼女は、部活には入っていないが、運動神経が良いので、各部活から引つ張りだこの人気ものだ。部活に入っていないのは、アルバイトで忙しいからだそうだ。

そんな彼女はコンビニのアルバイトをしている。サーク K ではない。ファミリ マートだ。

クラスでは接点がない彼女だが、もし、同じバイトとして働ければ、急接近のチャンスになるかもしれない。きっと、話す機会も増えるだろう。普段はあがって言えない事も、彼女に言えるようになるかもしれない。

そんなさもしい感情を抱えて、俺はコンビニのアルバイトを志望した。

しかし、練習で受けたサーク K も、見事に不採用。

それも当然だった。今は大卒内定率が三割を切る大不況時代だ。

コンビニのアルバイトでも、十倍以上の競争率がある。

そんな中、俺みたいな奴が採用されるはずがない。

本番となるファミリ マートの面接まで、あまり日は残されていないなかった。

俺は溜息を吐く。

そんなある日の事だった。学校で一枚のビラを発見する。

『修職部』

という文字だった。

活動内容。自己分析、面接練習、グループディスカッションの対策、など、表面的な就職活動に対する対策だけでなく、本当の意味での、職を修める事を目的とする部活動。

修職？ 就職じゃなくて？

何と無く、その違いに興味を持った俺は、その部の名前が書いて

あるところを訪ねる事にした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0640z/>

しゅーしょくぶ！

2011年12月2日15時54分発行